

地域と大学の自由な連携： 姪浜西南大学まちの進捗(2)

小 出 秀 雄

1. はじめに

西南学院大学教育インキュベートプログラム「姪浜（めいのはま）西南大学まち～域学連携による実践コミュニティの教育効果～」は、学生の社会力向上と地域の活性化を目的とした、2015年度後期から2018年度の3年半の取組である¹。現在の大学が組織として行うべき教育・研究・社会貢献の3領域をすべてカバーし、地域の方々と学生たちおよび教員（筆者）が常に試行錯誤を繰り返し、取組の内容を変化させてきている。

本稿では、姪浜西南大学まち（Meinohama Seinan Univer “City”）の進捗報告の2回目として、2016年度における主な取組を紹介する。2016年度は、福岡市西区の姪浜地域でのさまざまな取組だけでなく、西南学院大学が所在する早良（さわら）区の西新（にしじん）校区での活動、および中央区地行浜（じぎょうはま）に立地するグローバル企業との連携事業も始まった、画期的な年である。

1 計画では2018年度前期までの3年間だったが、年度末までの半年延長が認められた。なお、姪浜は地域名や駅名である一方、町名は「姪の浜」である。姪浜西南大学まちの情報は日々、筆者と学生、卒業生が、Facebook ページ〈<https://www.facebook.com/meinoseinan/>〉およびブログ〈<http://meinoseinan.seesaa.net/>〉で発信している。

2. 2014～2015年度の姫浜西南大学まちの出来事

2014年度および2015年度の出来事については前稿で記述したが²⁾、2016年度の話につなげる都合上、あらためて要点を振り返っておく。図表1と図表2はそれぞれ、2014年度と2015年度の出来事である。これらは、前稿で示した図表にごくわずかな修正を加えたものである。

姫浜西南大学まちが本学の教育研究プロジェクトとして正式に採択されたのは、2015年7月である。その1年ほど前から、筆者は姫浜地域の視察を始めた。2014年の夏に姫浜のまちを何度か歩き、秋の地域行事にサポート学生を募って派遣した。その学生たちが活動したのはそのとき限りであり、残念ながら地域に根付かなかった。

No.	月/日	出来事	場所
1	8/10(日)	「みそ蔵」視察	旧マイヅル味噌(西区姫の浜)
2	8/20(水)	姫浜まち視察	姫の浜
3	10/19(日)	姫浜さんしゃい芸術祭(手伝い)	買物広場(西区姫の浜)
4	10/26(日)	ハローウィンパーティー in めいのはま(手伝い)	旧マイヅル味噌
5	11/26(水)	商店街活性化に貢献?する調理実習のひとつ(学生企画)	西南学院大学(早良区西新)
6	1/29(木)	「姫浜商店街⇄西南学院大学イベント」打ち合わせ	西南コミュニティーセンター(早良区西新)
7	2/18(水)	「姫浜商店街⇄西南学院大学イベント」はじめるよ!会(全体会&交流会&懇親会)	西南コミュニティーセンター&midori食堂(西区姫の浜)
8	3/23(月)	「姫浜商店街⇄西南学院大学イベント」ワークショップ(vol.1)	西南コミュニティーセンター

図表1 2014年度の出来事(筆者作成)

2 小出秀雄「地域と大学の自由な連携：姫浜西南大学まちの進捗(1)」、『西南学院大学経済学論集』第52巻第2・3合併号、43-65頁、2017年11月。

No.	月/日	出来事	場所
1	4/5(日)	ユル～い懇親会	あこめの浜(西区姫の浜)
2	4/18(土)	西南生とカフェめぐり in めいのはま	姫の浜
3	4/28(火)	「みそ蔵」交流会(vol.1)	旧マイヅル味噌
4	5/3(祝) & 4(祝)	西区どんたく(手伝い)	西区役所(西区内浜)
5	5/19(火)	美心セラピー：世界に一つだけの心の地図作り	西南コミュニティーセンター
6	5/25(月)	「みそ蔵」交流会 vol.2	旧マイヅル味噌
7	5/30(土)	第7回ワンディショップ&フリーマーケット in めいのはま	買物広場&旧マイヅル味噌
8	6/5(金)	メイクセラピー：笑顔美人になる魔法のポイントメイク術	西南コミュニティーセンター
9	6/19(金)	「みそ蔵」交流会 vol.3	旧マイヅル味噌
10	6/26(金)	メイクセラピー：眉美人の法則で目力アップ	西南コミュニティーセンター
11	7/20(祝)	「みそ蔵」活用企画コンテスト～みそコン～	西南コミュニティーセンター
12	7/25(土) &26(日)	姫浜まつり(手伝い), M's コミュニティ仮オープン	M's コミュニティ&買物広場
13	8/10(月)	映画「なつやすみの巨匠」中島監督：動画ワークショップ	M's コミュニティほか
14	8/20(木)	中島監督と能古島サイダー飲みながら国際交流する会	中洲大洋(博多区中洲)
15	8/29(土)	講座「九大生による折り紙&手品」(学生企画)	M's コミュニティ
16	9/5(土)	地域活性学会第7回研究大会(発表)	大手前大学夙川キャンパス(兵庫県西宮市)
17	9/12(土)	みんなで日本映画を語り尽くす会	西南コミュニティーセンター
18	9/17(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第1回：シンキング～目標設定～	西南学院大学
19	9/26(土)	西南生と交流会&清掃&一品持ち寄りご飯会	M's コミュニティ&買物広場
20	9/27(日)	西区まるごと博物館 in 姫浜中央公園2015(手伝い)	姫浜中央公園(西区姫浜駅南)
21	10/2(金)	ここだけのメイク講座第1回：ツヤ肌をつくる魔法のテクニック	西南コミュニティーセンター

図表2 2015年度の出来事(筆者作成)

No.	月/日	出来事	場所
22	10/15(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第2回：アクション・コミュニケーション	M's コミュニティ
23	10/19(月)	福岡市商店街活力アップ講座事業・人材育成講座（講演）	福岡信用金庫姫浜支店 （西区姫の浜）
24	10/24(土)	姫浜商店会連合会「M's コミュニティ」オープニングイベント	M's コミュニティ&買物広場
25	10/30(金)	LOVE FM 生放送（学生出演）	旧マイヅル味噌
26	10/31(土)	ハロウィンパレード in めいのはま（学生企画）	旧マイヅル味噌ほか
27	11/6(金)	ここだけのメイク講座第2回：アイシャドウのつけ方で美力アップ	西南コミュニティーセンター
28	11/11(水)	九大生と姫浜で作戦会議&懇親会（第1回姫浜懇親会）	居酒屋あるよ（西区姫の浜）
29	11/19(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第3回：アクション・コミュニケーション	西南学院大学
30	11/20(金)	ここだけのメイク講座第3回：眉美人の法則で目力アップ	西南コミュニティーセンター
31	11/23(祝)	東京オトナ大学（講演）	サビアタワー（東京都千代田区）
32	11/24(火)	第3回西南姫浜会（講演）	M's コミュニティ
33	11/28(土)	西南生と交流会&清掃&一品持ち寄りご飯会	M's コミュニティ&買物広場
34	12/3(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第4回：シンキング	西南学院大学
35	12/4(金)	ここだけのメイク講座第4回：女性らしさが増す唇とチークのポイントテクニク	西南学院大学
36	12/5(土) & 6(日)	第2回地域課題解決全国フォーラム in 庄内（学生発表）	東北公益文科大学 （山形県酒田市）
37	12/14(月)	元気なまち・ふくおかを知るセミナー第1回	西南コミュニティーセンター
38	12/18(金) & 19(土)	姫浜商店会連合会歳末抽選会（手伝い）&東北遠征成果報告会（学生企画）	M's コミュニティ
39	12/24(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第5回：アクション・チームワーク	西南学院大学

図表2 つ づ き

No.	月/日	出来事	場所
40	12/27(日)	みそ蔵 de ワールドカフェ in めいのはま (学生企画), 西南生と清掃&忘年会	旧マイヅル味噌&買物広場&M'sコミュニティ
41	1/8(金)	ここだけのメイク講座第5回: これまでのまとめ&悩み別メイク講座	西南コミュニティーセンター
42	1/19(火)	LOVE FM 生放送出演	ソラリアパークサイドスタジオ (中央区天神)
43	1/27(水)	地域との共生を目指す元気商店街応援事業報告会 (学生発表)	福岡商工会議所 (博多区博多駅前)
44	2/11(祝)	西南生と映画を観る会 (学生企画)	M's コミュニティ
45	2/23(火)	地域課題解決プロジェクト創出セミナー (学生発表)	福岡市スタートアップカフェ (中央区今泉)
46	2/24(水)	FUKUOKA NEXT 2016プレカフェ in 姫浜西南大学まち	西南コミュニティーセンター
47	2/26(金)	元気なまち・ふくおかを知るセミナー第2回	西南コミュニティーセンター
48	3/12(土)	元気なまち・ふくおかを知るセミナー第3回 (工場見学)	日経西日本製作センター西部工場 (東区東浜)
49	3/16(水)	第32回西南ビジネスクラブ月例会 (講演)	さんさん広場 (博多区祇園町)
50	3/21(祝)	第8回ワンディショップ&コイバナフェスタ in めいのはま (学生企画)	M's コミュニティ & 買物広場
51	3/26(土)	西南生と交流会&清掃&姫浜NEXT交流会	M's&広場&まちの案内所 (西区姫の浜)
52	3/28(月)	姫浜西南大学まち×ぐるなび	西南コミュニティーセンター

図表2 つ づ き

姫浜地域では、3つの商店会から構成される姫浜商店会連合会が広いエリアで営業・活動しているが³、かつて栄えていた旧唐津（からつ）街道「姫浜宿（しゅく）」沿いの店舗はまばらになり、シャッターが閉まった物件が並んでいた。旧街道周辺に住んでいる人は多いものの、当時は気軽にお互いが出会い、

3 加入店舗数が100を超える姫浜商店会連合会（久保保彦会長）は、姫浜商店会・姫浜中央商店会・姫浜駅地区商店会の連合体である。

話す場所が非常に少なかった。

そのような状況の中、活動・研究フィールドおよび新たなコミュニティづくりの場として、この旧唐津街道で学生有志が子どもや年配の方と交流し、自身のコミュニケーション能力を養いつつ世代間をつなぐことは、人材育成の面だけでなく地域社会的にも意義がある、と筆者は考えた。そして、「よそ者」である学生が斬新な発想とチャレンジ精神を持ち込み、つながりが弱くなっているこの地域を少しでも盛り上げることができるかどうか、時間をかけて姫浜で「実験」をしてみる決意をした。

社会科学の一分野である経済学では、理系のように実験を行う機会に乏しい⁴。とはいえ、自分たちが座学で得た知識が正しいかどうか、学生は地域で実験することができる。実験には当然失敗があるが、そこからまた学ぶことができる。このように、大学での「座学」と地域での「実践」を行ったり来たり、成功したり失敗したりしながら、学生は成長していく可能性がある。

2015年の春、筆者が姫浜西南大学まちを構想している段階で、姫浜商店会連合会の方から、旧唐津街道沿いの空き店舗を借り、人が集まり地域が活気づくスペースをつくりたい、という提案があった。

折しも、姫の浜3丁目の姫浜買物広場の東隣に、空いてからそれほど時間が経っていない物件があった。トイレとキッチンがあるため、隣の買物広場でイベントを行うときにここが開いていると、大変便利である⁵。また、壁が真っ白で、可動式のスクリーンを広げなくても、プロジェクタの画像をきれいに映し出すことができる。

2015年7月下旬の姫浜まつり（夏祭り）のタイミングで、この「フリースペース」（自由に利用できる場所）が仮オープンした。そして同年10月、本学学長も参列する中、姫浜の新しいコミュニティである「M's コミュニティ」が

4 近年「行動経済学」とよばれる、経済学と心理学のエッセンスを融合した、実証的な研究分野が注目されている。筆者の1年ゼミ（基礎演習Ⅰ）においては数年前から、行動経済学の初歩を学生主体で学んでいるが、2018年度にはその知識を検証するチーム実践に取り組んでいる。

5 買物広場にトイレはなく、また水道は、管理者から「蛇口」を借りてこなければ使用できない。

正式にオープンした。

現在、姫浜商店会連合会が M's コミュニティを管理しており、一般利用のレンタル料金は1時間500円、学生がイベントで利用する場合は何時間でも無料である。日常的な M's コミュニティのスケジュール管理は、商店会連合会メンバーと本学学生で構成している LINE グループ「M's コミュニティチーム」が行っている。最新の月間スケジュールの画像が送られてくると、それを加工（トリミング）してから、Facebook ページのトップとブログ記事に掲載している。その後、スケジュールに変更等があった場合、原本の差し替えや画像修正で対応している。

以上、2014年度～2015年度の出来事に関して、要点のみを述べた。

なお、筆者が姫浜西南大学まちを発案したときから掲げている目的の一つは、「姫浜地域（商店街）と本学が、対等に頻繁に交流するしくみと雰囲気をつくる」である。2015年度の時点で、西区の姫浜地域と早良区の西南学院大学との交流は徐々に進み、M's コミュニティに関する新聞記事は同年度内に4回掲載された。

【2015年度の新聞記事】

- ①「姫浜商店街に地域交流の場 きょうオープン」, 『朝日新聞』2015年10月24日朝刊, 33面。
- ②「空き店舗 地域交流拠点に 西区・姫の浜 カフェや講座」, 『読売新聞』2015年11月29日朝刊, 35面。
- ③「空き店舗活用 にぎわい創出 姫の浜に誕生した交流拠点 M's コミュニティ(福岡市)」, 『読売新聞』2015年12月8日朝刊, 32面。
- ④「姫浜 結びつきのまちから[上] 地震きっかけ 見つけた宝」, 『朝日新聞』2016年2月14日朝刊, 33面。

3. 2016年度の姫浜西南大学まちの出来事

図表3は、2016年度の出来事である。

No.	月/日	出来事	場所
1	4/23(土)	西南生とカフェめぐり in めいのはま2016	姫の浜
2	5/3(祝) & 4(祝)	西区どんたく(手伝い)	西区役所
3	5/9(月)	西新支店立ち上げ打ち合わせ	西南クロスプラザ(早良区西新)
4	5/19(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第1回:目標設定&GD	西南学院大学
5	5/21(土)	第9回ワンデイショップ in めいのはま	M's コミュニティ&買物広場
6	5/21(土)	校区安全パトロール	西新校区
7	6/11(土)	The 66th Annual Conference of the International Communication Association (Presentation)	ヒルトン福岡シーホーク (中央区地行浜)
8	6/12(日)	七隈川防災訓練	城西ポンプ場(早良区城西)
9	6/14(火)	マイタウン姫浜取材	M's コミュニティ
10	6/16(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第2回:姫浜夢集め	姫の浜
11	6/18(土)	校区安全パトロール	西新校区
12	6/26(日)	博多湾ヨットクルーズ	福岡市立ヨットハーバー (西区小戸)
13	7/9(土)	校区安全パトロール	西新校区
14	7/17(日)	姫浜まつり(手伝い)	M's コミュニティ&買物広場
15	7/21(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第3回:自己分析とES①	西南学院大学
16	7/30(土)	校区安全パトロール	西新校区
17	8/7(日)	オープンキャンパス教育IP紹介(学生発表)	西南学院大学
18	8/20(土) &21(日)	こども縁日(手伝い)	えきマチ1丁目姫浜 (西区姫の浜)
19	8/20(土)	校区安全パトロール	西新校区
20	8/25(木)	映画「なつやすみの巨匠」ワークショップ in せいなん(動画WS &上映会)	西南コミュニティーセンター
21	8/26(金)	映画「なつやすみの巨匠」ワークショップ in めいのはま(動画WS)	M's コミュニティ

図表3 2016年度の出来事(筆者作成)

No.	月/日	出来事	場所
22	8/27(土)	子どもと親のきらく会「夜の学校探検」(手伝い)	西新小学校(早良区西新)
23	8/28(日)	映画「なつやすみの巨匠」ワークショップ in めいのはま(上映会×3)	M's コミュニティ
24	9/3(土)	地域活性学会第8回研究大会(発表)	長野県小布施町公民館
25	9/8(木)	平成28年度教育改革ICT戦略大会(発表)	アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)
26	9/11(日)	姫の浜文化祭(熊本・大分復興支援チャリティイベント, 手伝い)	姫浜住吉神社ほか
27	9/15(木)	3年ゼミ姫浜チーム報告・第1回	西南学院大学
28	9/17(土)	校区安全パトロール	西新校区
29	9/21(水)	講座「地域に大学生, そしておやじ」	M's コミュニティ
30	9/25(日)	西区まるごと博物館 in 姫浜中央公園2016(手伝い)	姫浜中央公園
31	9/29(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第4回: 振り返りと目標設定	西南学院大学
32	10/8(土)	青色防犯パトロール実施者講習	西新公民館(早良区西新)
33	10/11(火)	福岡市取材	M's コミュニティ
34	10/13(木)	3年ゼミ姫浜チーム報告・第2回	西南学院大学
35	10/15(土)	夢ナビライブ2016(模擬講義)	マリンメッセ福岡(博多区沖浜町)
36	10/17(月)	実践講座! 特許ミラクル花束で企画営業体験・第1回	西南コミュニティーセンター
37	10/22(土)	第6回ハロウィンパレード in めいのはま(学生企画)	M's コミュニティほか
38	10/22(土)~31(月)	めいのはまハロウィンカフェめぐり(学生企画)	姫の浜
39	10/22(土)	校区安全パトロール	西新校区
40	10/27(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第5回: 就活全体像と座談会	西南学院大学
41	10/29(土)	子どもと親のきらく会「ハロウィン仮装パトロール」(手伝い)	西新校区
42	11/1(火)	3年ゼミ姫浜チーム報告・第3回	西南学院大学

図表3 つづき

No.	月/日	出来事	場所
43	11/7(月)	実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験・第2回	西南コミュニティーセンター
44	11/13(日)	講座「靴と姿勢」(学生企画)	M's コミュニティ
45	11/14(月) ～23(水)	地域資源発掘アンケート (学生企画)	M's コミュニティ
46	11/16(水)	めがねかい vol.1	もつ鍋木むら (早良区高取)
47	11/18(金)	唐津街道まちづくり協議会・まちづくり行動委員会講演会	まちの案内所
48	11/19(土)	校区安全パトロール	西新校区
49	11/23(水)	夜カフェ at 姫浜 (学生企画)	M's コミュニティ
50	11/24(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第6回：自己分析とES②	西南学院大学
51	11/25(金)	福岡市“共創”自治協議会サミット・紹介パネル展示	なみきスクエア (東区千早)
52	11/27(日)	夜カフェ at 姫浜 (学生企画)	M's コミュニティ
53	11/28(月)	実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験・第3回	ヒルトン福岡シーホーク
54	12/1(木)	3年ゼミ姫浜チーム報告・第4回	西南学院大学
55	12/3(土) & 4(日)	第3回地域課題解決全国フォーラム in 庄内 (学生発表2件)	東北公益文科大学
56	12/10(土)	Q-conference2016ポスターセッション (学生発表)	中村学園大学 (城南区別府)
57	12/11(日)	学習成果報告会 (学生企画)	M's コミュニティ
58	12/12(月)	実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験・第4回	西南コミュニティーセンター
59	12/17(土)	校区安全パトロール	西新校区
60	12/19(月)	実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験・第5回	西南コミュニティーセンター
61	12/22(木)	社会人基礎力を学ぶワークショップ第7回：GD 面接対策	西南学院大学
62	12/26(月)	年末特別警戒パトロール	西新校区
63	1/8(日)	おしるこ新年会 in 姫浜 (学生企画)	M's コミュニティ
64	1/16(月)	実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験・第6回	西南コミュニティーセンター
65	1/19(木)	3年ゼミ姫浜チーム報告・第5回	西南学院大学

図表3 つづき

No.	月/日	出 来 事	場 所
66	1/21(土)	校区安全パトロール	西新校区
67	2/5(日)	めがねかい vol.2	midori 食堂
68	2/18(土)	校区安全パトロール	西新校区
69	2/22(水)	実践講座打ち合わせ(学生企画)	ヒルトン福岡シーホーク
70	3/18(土)	校区安全パトロール	西新校区
71	3/30(木)	AQUA SOCIAL FES!! 2017 in 福岡ワークショップ・第1回	西南コミュニティーセンター

図表3 つ づ き

大学では年度が変わると、学生の面々も変わる。当たり前のことではあるが、昨年度地域で活動した学生が、次年度も活動するという保証はない。学生は1年経てば直面する状況が変わり、就職活動が始まれば地域に関わる時間はなく、大学を卒業すればほとんどの場合いなくなってしまう。メンバーが入れ替わりつつも地域で活動し続けるには、何らかの工夫が必要である。

前稿の小括で示した2015年度終了時点での課題は、以下の通りであった⁶。

- (1) 学内学外で取組内容が知られていないため、広報の努力が必要である。
- (2) 頭角を現す学生は全体のうちわずかであり、確率を高める余地がある。
- (3) 姪浜における状況が常に変わっていくため、より柔軟な体制をつくる。

(1)についてはその後、地元の新聞社やフリーペーパー等による取材を積極的に受けつつ、本学および福岡市から広報してもらう機会を増やした⁷。(3)については基本的に、前稿の小括で図示した「ネット・リアル構造」を現在も踏襲している。

6 小出(2017), 63頁。

7 姪浜西南大学まちは、2016年度に福岡市が募集を開始した「“ふくおか”地域の絆応援団」にいち早く申請し、6番目の団体として登録された。この応援団は、自治協議会や自治会・町内会等の地域団体が行っている地域活動を、さまざまな形で応援している企業や商店街等である。この地域の絆応援団としての活動が評価され、2018年10月に姪浜西南大学まちは、福岡市長より感謝状を贈呈された。

そして、(2)に関してはまず、筆者の担当する3年ゼミ（演習Ⅰ）の中でチームプロジェクトを立ち上げ、チーム全員で姫浜地域に関わるようにした。それと並行して、姫浜「以外」の実践地域と実践テーマを新たに設けて、ゼミ以外の学生が参加する機会を増やした。

以下では、2016年度に行った3つの取組を紹介する。

3.1. 姫浜におけるチームプロジェクト（3年ゼミ）

2015年度も、3年のゼミ生に姫浜での活動を促したものの、地域の方に「顔が覚えられるほど」熱心に活動した学生は3割程度にとどまり、残りの7割はほぼ何もせずに終わった。この実行確率の低さの原因は、個人によびかけたことにあると考えた。

そこで、2016年度の3年ゼミ16名に⁸、前期が終わる頃、4名ずつの4チームを編成させた。

その前期は、テキストとして『なぜ繁栄している商店街は1%しかないのか』⁹を輪読する一方で、気になった商店街を二人組で実地調査する「商店街研究」を行ったり¹⁰、M's コミュニティ周辺での活動報告を行ったりしていた。座学に実践を組み合わせることで、学生は座学の意義をあらためて知ったようである。その学びを深めるため、姫浜でのチーム活動を始めることにした。

夏休みから各チームは調査活動を行い、後期のゼミで計5回、全チームが進捗報告を行った。一方で、地域活性化事例の報告を個人単位で行い、全員で議論した。

最終的に、各チームは後期末までに「チームプロジェクト成果報告書」を作成し、提出した。報告書の課題は、「福岡市西区の姫浜商店街で取り組んだチームプロジェクトの動機・協働体制・経過・結果・課題について、図表や写真を

8 厳密には4年生が3名いたが、評価方法に違いはない。

9 辻井啓著作、阪急コミュニケーションズ、2013年。3年ゼミでは2015～2017年度の3年間、このテキストを使用した。

10 学生が商店街研究で報告した事例は、福岡市博多区の川端通（かわばたどおり）商店街、同中央区の新天町（しんてんちょう）、北九州市小倉北区の魚町（うおまち）銀天街である。

適宜利用しつつ、16,000字以上で論述せよ」という内容だった。

以下は、各チームの成果報告書のタイトル（下線部）、メンバーのイニシャル、主な内容である。なお、「内容を表す適切なタイトル」を明記するよう指示したが、あまり正確に伝わらなかったようである。

◆チーム1：姫浜チーム報告

Y・K・Z・Y（男子3名・女子1名）、姫浜商店街のまちおこし動画制作

◆チーム2：活動を通して見えてきた様々な課題と今後の展望についての報告書

K・S・Y・M（男子3名・女子1名）、姫の浜文化祭でのアンケート調査と分析

◆チーム3：姫浜商店街活動を通して

K・Y・Y・T（男子4名）、ふるさと納税の活用

◆チーム4：姫浜商店街活動報告と反省

S・K・M・T（男子2名・女子2名）、夜カフェの運営

この年度の3年ゼミ生には、ゼミ選考終了後（2年の12月）にすぐ課題を与えた。その課題とは、「2015年12月下旬に開催される姫浜商店街でのイベント（略）に少なくとも一つは参加し、そこで参加者と対話したことおよび自分が考えたことを、1ページ内に表現せよ」というものだった。これは個人に対する課題であったが、実際は数名でイベントに参加しており、その後チームで活動するために知ってほしい現地の雰囲気を共有できたのは大きい。

上記のチームのうち、「チーム2」の調査進捗が優れていたため、2016年12月に東北公益文科大学（山形県酒田市）で開催された「第3回地域課題解決全国フォーラム in 庄内」で発表してもらった（写真1・図表4）¹¹。その前年度にも同フォーラムで、3名が一つの発表を行ったが、このときはゼミ内のチーム活動に基づく報告であり¹²、同チームの成果報告書はいっそう充実したもの

11 メンバーの一人であるYの都合がつかず、チーム4のKが代わって出場した。

12 なお、2017年度の地域課題解決フォーラム（最終回）では、4チームの代表がそれぞれ発表した。



写真1 地域課題解決フォーラムでの発表
(2016年12月3日筆者撮影)

今後、商店街で開催してほしい企画	
10代	・リレー大会(11歳) ・金魚すくいのある祭り(12歳)
20代	・夜カフェ(20代女性) ・寺殿巡り(20代男性)
30代	・いろいろな祭りを開催してほしい！(30代男性) ・アート系イベント(30代男性)・ワンコインランチ&バスポート(30代女性)
40代	・今回(短の浜文化祭)のようなイベント(40代女性) ・手作り系イベント(40代男性) ・バルウォーク(40代女性) ・フリーマーケット(40代女性) ・小さい子供が参加出来るイベント等(40代女性)

図表4 アンケート調査の一部 (学生作成)



写真2 オープンキャンパスに全員出演
(2017年8月6日筆者撮影)

となった。

さらにその翌年の夏のオープンキャンパスにおいて、学生が主体的な学びの成果を高校生や保護者にアピールするコーナーに、そのゼミ生全員が出演した(写真2)。3年のときに経験したチームワークが、4年になってさらに活かしたのである。学生たちが寸劇を交えながら、姫浜研究の成果を楽しそうに話す姿を見て、筆者は座学と実践の融合に手応えを感じた。

ただこの代には、活動場所が同じ部活(体育会系)や同じボランティアサークルのメンバーが何名かおり、それが高いチームワークにつながったといえる。

3年以上の「専門ゼミ」を通じて得るものもある一方で、専門ゼミに入る前に協調性を高める機会があれば、さらに効果的に実践を展開できると思われる。

したがって、次に考えられる方策は、1年ゼミ（基礎演習Ⅰ）や2年ゼミ（基礎演習Ⅱ）に実践を取り入れることである。それは実際に2017年度以降行っており、詳細は次稿に持ち越す。

3.2. 西新校区のパトロール

筆者が20年間勤務している西南学院大学は、福岡市早良区の西新というまちに所在している。

前稿の冒頭でも紹介したように、「西新町村」と「麓原（そはら）村」が1889年の町村制により「早良郡西新町」となり、1922年に福岡市に編入され、福岡市西新町となった。現在の西新・城西（じょうせい）・曙（あけぼの）といった町名は、1969年の住居表示の際にできた。それまで、多くの町名が入り組んで存在していた（図表5）。なお、1972年から1982年の間、西新周辺は現在の早良区ではなく、西区だった¹³。

西南学院大学中央キャンパスの北隣に、1873（明治6）年創立の歴史を誇る、福岡市立西新小学校が建っている。2016年4月、筆者は福岡市立百道（ももち）小学校の「松葉の会」¹⁴会長に就任し、西新小の「子どもと親のきらく会」（以下きらく会）¹⁵の方々と懇談していたとき、本学と西新小で何か交流できないか、という話になった。隣同士であるという地の利を生かして、児童にとっても学生にとっても有益な活動ができるはずだ、と考えたのである。

13 旧西区は現在の西区・早良区・城南区の3区に分かれたが、早良区と城南区の境界は地域住民の意向等が反映され、複雑に入り組んでいる（参考：福岡市行政区画審議会『福岡市行政区画再編成に関する答申』1980年、福岡市総合図書館所蔵）。例えば、ほぼ南北を貫く早良街道より東側の荒江1丁目と飯倉1丁目は城南区であるが、荒江2・3丁目および飯倉2〜7丁目は早良区である。しかも、飯倉5・6丁目は早良街道より東にある。2017年12月に現地を歩いたところ、飯倉5・6丁目（早良区）とその東隣の七隈2・3丁目（城南区）の境界は「山の尾根」に相当し、地理的にはわかりやすい。

14 松葉の会はいわゆる「おやじの会」であるが、女性保護者も在籍している。

15 子どもと親のきらく会もおやじの会であり、福岡市立百道浜（ももちはま）小学校の「百道浜シーサイドクラブ」を含む百道中学校区のおやじの会3団体は、日常的に交流している。



図表5 かつての西新町周辺の新旧町名（筆者作成，手書きが旧町名）

参考：福岡市市民局市民部区政課『福岡市の行政区画―町・大字の現状―』1979年（福岡市総合図書館所蔵），および Mapion 地図データ。

早速その翌月，筆者および神学部生の紺田剛孝氏，きらく会OBで西新校区自治協議会副会長の松永洋幸氏の3名が本学で打ち合わせをし，姫浜西南大学まち「西新支店」を立ち上げた。本学の所在地は西新であるものの，西新校区とのつながりはほとんど実感できなかった。西新「本店」ではなく，姫浜プロ



写真3 西新支店発足直後のメンバー

(2016年7月30日西新公民館撮影)



写真4 参加の動機は人それぞれ

(2018年7月27日西新公民館撮影)

ジェクトの西新での支店と位置付けたのは、まずは西新でできる、小さなことから始めようという理由からである。

西新支店長を快く引き受けてくれた神学部生の紺田氏はその後、自治協議会の松永副会長と密に連絡を取り、まずは筆者と学生有志が、校区安全パトロール（夜回り）や七隈川（ななくまがわ）防災訓練等の行事に参加することを決めた。

校区安全パトロールとは、原則月末の夜に西新公民館に集合し、校区内を3コースに分かれて1時間弱パトロールする行事である。公民館に10分ほど前に集合し、黄色のパトロール用ベストを着て誘導灯（赤・青）やライト、拍子木等を持ち、パトロールに向かう準備をする（写真3・写真4）。

パトロールの3つのコースは、以下の通りである¹⁶。人数や季節によっては、2コースだけパトロールする場合がある。また、曙1・2丁目は公民館から遠いため、その近所の詳しい方が一人でパトロールしながら帰宅することが多い。

16 西新校区は、西新1～4・6・7丁目、城西1～3丁目、曙1丁目・曙2丁目1～5番である。

●商店街コース

…公民館 → 西新2丁目の住宅街 → 西新1・4丁目の商店街 → 公民館

●大学周辺コース

…公民館 → 西新3・6・7丁目の住宅街および本学周辺 → 公民館

●城西・曙コース

…公民館 → 城西3丁目 (→ 曙1・2丁目) → 城西2・1丁目 → 公民館

西新支店長を務めた紺田氏は2016年9月に、以下のメッセージを Facebook で発信した¹⁷。

[引用始まり]

○振り返り

そもそも現代において、そのまちの町内会であっても夜回りは人が集まらないものです。そんな中で、そのまちにある大学の学生に夜回りの参加を呼びかけることから始まった西新支店。常識的な視点から導き出される「誰が来るんだ？」そんな結論と付き合いながらの数か月でした。

思い通りにならないことのほうが多い数か月でしたが、思い通りにならないことによって磨かれる数か月でもありました。面と向かって嫌味を言われた事もあります。でも、助けて貰える方と出合えるという事もありました。結論として数か月の総括として、僕はこの活動をやらせてもらえてよかったと感じています。今後、ひと、そしてそのまちと向き合うにあたり、さらに大変な労苦あるでしょう。でも、嬉しい事もきっと沢山あるはずです。

最後となりましたが皆様へ、いつも助けていただきありがとうございます。もうちょっと頑張ってみたいと思いますので、これからも、応援と祈りをよろしくお願いします。

[引用終わり]

17 原文そのままだが、1字だけ修正した。

まことに残念なことに、紺田氏は同年12月に急逝した。彼が人集めに苦労したパトロールは現在も続いており、彼の想いを受け継ぐ学生や、地域コミュニティに関心を持つ学生が参加している（写真4）。

パトロールへの参加の動機は学生によって違うが、西新校区の住民と歩きながら会話することで、学生のコミュニケーション能力は向上し、西新に関する知識が増える。学生の故郷を聞いて話が弾んだり、長年住んでいる人しか知らない西新事情を教えてもらったり、公民館に着いてお茶やお土産をもらったりと、世代を超えて楽しいやりとりが生まれている。

学生有志はこの校区パトロールのほかにも、2016年より西新で、きらく会主催の「夜の学校探検」（写真5）や「ハロウィン仮装パトロール」、餅つき等をサポートしている¹⁸。また、毎年西新公民館で行われる「青色防犯パトロール実施者講習会」に、2016年以降学生も参加している。筆者も2017年12月に学生たちと講習を受け、後日パトロール実施者証を受領した（写真6）。

たまたま筆者が松葉の会の会長になったことをきっかけに、きらく会とつながり、自治協議会とつながり、ついに地域と学生がつながった。西新界隈を歩いているだけで、顔を覚えられた学生は声をかけられる。

徐々にではあるが、本学を含む西新校区が、学生と住民の交流の場・学びのまちとなりつつある。



写真5 西新小でのイベントのサポート
(2017年8月19日筆者撮影)

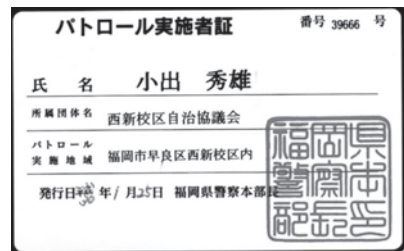


写真6 筆者のパトロール実施者証

18 2016年に、当時きらく会会長だった上村裕平氏と筆者（当時松葉の会会長）が連名でボランティア募集を始めて以来、サポートを継続している。きらく会は1年で会長以下の役員が代わるが、毎回上村氏の仲介を経て、現会長と筆者の連名で学生募集を行っている。

3.3. ヒルトン福岡シーホークとの連携

このように、姫浜西南大学まちは姫浜に加えて西新でも連携活動を始めたが、さらに樋井川（ひいかわ）を越えて中央区の地行浜に燦然とそびえ立つ「ヒルトン福岡シーホーク」（以下ヒルトン）と連携するに至った。本学とヒルトンを結び付けたのは、学生の熱意だった。

2016年度後期に「実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験」と題する実践講座を始めたのは、本学のボランティアセンターを訪ねてきた星井祥染（しょうせん）氏（本学商学部卒）と筆者が面談したことがきっかけである。

星井氏は、自身が特許を取得している高機能生花花束「ミラクルデザインブーケ®」（以下MDB, 写真7）¹⁹を教材として、後輩である現役学生に企画提案・営業を体験してもらい、社会人基礎力を高めてほしいと考えていた。学生が企業等に対して企画提案するアクティブラーニングは当時、商学部のゼミで行われていたが、そのゼミの学生以外は参加できず、波及効果は限定的だった。

他方、姫浜西南大学まちはすべての学部の学生を受け入れていたため、実社会を相手にしたアクティブラーニングをまさに「体験」するには、最適な枠組だった。星井氏と筆者は、ボランティアセンターの一室で1時間面談しただけで、このMDBを使った実践講座をやることを決めた。そして星井氏を、実践講座の講師に任命した。



写真7 ミラクルデザインブーケ®見本

(2016年10月17日筆者撮影)

19 MDB についての詳細は、同ホームページ（<https://homepage2.jimdo.com/>）を参照のこと。

その後、いち早く受講を名乗り出た文学部生を交えて、3名で講座自体のプログラムを練った。その際意見が分かれたのは、MDBを活用した学生チームの企画提案に応じてくれる「クライアント」企業を星井講師があらかじめ用意しておくか、それとも、学生自らがクライアントになってくれそうな企業を見定めてアプローチするか、という点であった。

結果的に、その学生の強い意向により、受講生自身がクライアント候補企業にアプローチすることに決めた。講座を進めながらも学生が飛び込み営業をするという授業を、筆者は聞いたことがない。その一方、一社でもわれわれの相手を引き受けてくれるならば大手柄、一社も引き受けてくれなければ講座はそこで終了、というリスクなシナリオに対して、学生がどれほど奮起するかも見てみたかった。

2016年度後期に開講した「実践講座！特許ミラクル花束で企画営業体験」は、以下のスケジュールで進行した。各回とも月曜の5限（16：20～17：50）に行われる、単位修得とは関係がない課外授業である。場所は、会社訪問の第3回を除いて、すべて西南コミュニティーセンター2階のプロジェクトルームである。

第1回：2016年10月17日

- 取扱商品 MDB を知ろう（写真7）
- MDB の特長を生かせば、どんな人にどんな新しいメリットを提供できるか？

第2回：2016年11月7日

- 想定クライアントの確定
- 提案書の書き方：前編

第3回：2016年11月28日

- 対象クライアントの会社訪問

第4回：2016年12月12日

- 補講（班単位でのワーク）

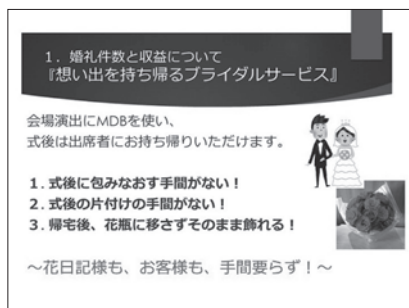


写真8 クライアントへのプレゼン

(2017年1月16日筆者撮影)



図表6 プレゼン資料(1) (学生作成)



図表7 プレゼン資料(2) (学生作成)

第5回：2016年12月19日

- 特許と商標について
- 提案書の書き方：後編

第6回：2017年1月16日

- 対象クライアント来校
- 班単位で企画提案 (写真8・図表6・図表7)

第1回は7名の学生が出席したものの、その直後に経済学部生2名が辞退し、5名が残った。そのうち、文学部3年の2名で一つの班、国際文化学部3年の2名と九州共立大学経済学部4年の計3名でもう一つの班をつくった。

前述の学生主導のクライアント探しは、予想通り難航を極めた。一人ひとりが候補企業の窓口に電話し、実践講座の趣旨を説明し、取り合ってくれる部署を尋ねて交渉した。また、交渉をさらに進めるために、テキストを候補企業に郵送したり、直接学生が会いに行ったりした。まったく新しい内容の講座を説明し、企画提案がまだできていないにも関わらずその相手をしてほしいとお願いするのは、学生にとってかなりハードルが高かっただろう。一つひとつ、企業に断られていった。

最終的に、国際文化学部2名が協働で交渉していたヒルトンが、クライアント役を承諾してくれた。ここに断られたら、講座自体が終わっていたかもしれない。まさに学生の熱意が、本学とヒルトンを結び付けたのである。

提案書等のプレゼン資料を完成させるために2つの班は、講座がある月曜5限に集まるだけでなく、それぞれ時間をかけて話し合い、SNSもフル活用して試行錯誤を重ねた。単に出席していればいい通常の授業とは比べものにならない膨大なエネルギーを、この企画提案に注いだ。その成果は、最終回のヒルトンへの企画プレゼンで十分に発揮された(写真8・図表6・図表7)。

このプレゼンで勢いに乗った受講生有志は、MDB活用にとらわれない、独自ブライダル企画を提案することで意気投合した。2017年2月にヒルトンで幹部と学生有志が面談し、実践講座の「応用編」を行うことが承諾された。その後、メンバー離脱や企画全面見直し等の紆余曲折を経て、最終的には同年11月に、3名がプレゼンを行った(写真9)。



写真9 応用編のプレゼンを終えて

(2017年11月6日講座スタッフ撮影)

企業と連携したこの種の実践講座はその後、本学内の他部署でも行われるようになった。学生にとって社会を実感できる機会が増えるのは結構なことであるが、クライアント役がない状態から学生が果敢に攻めたヒルトン連携講座とは、成り立ちと手応えが大きく違う。しかもそれは、学生が求めた設定である。

このような、企画段階から学生が関与できる自由な環境づくりを、今後も進めていきたい。

4. 小 括

本稿では、西南学院大学教育インキュベートプログラムである姫浜西南大学まちの進捗報告の2回目として、2016年度の主な取組を3つ紹介した。

地域と大学の自由な連携を模索していく中で、福岡市西区の姫浜地域の諸団体だけでなく、早良区の西新校区自治協議会と西新小・子どもと親のきらく会、実践講座を通じて中央区地行浜のヒルトン福岡シーホークとも連携することができた。

姫浜西南大学まちを始めたときには正直、学生の活動と学びの場がここまで広がるとは思っていなかった。姫浜事業については筆者が始めたものの、西新では神学部の紺田氏がパトロール参加者集めに奔走し、地行浜では国際文化学部の2名が企業に粘り強くアプローチしたことで、それぞれの地域の方々とのよい関係を築くことができた。いずれも、学生自身が地域と大学をつないでいったのである。

2017年度に入ると、姫浜校区自治協議会との新しい祭りの企画運営、トヨタ・西日本新聞社等の室見川（むろみがわ）²⁰でのイベントへの協力等が加わり、「大学 in 地域，地域 in 大学」「歩いて通える産学官民連携」と表現しうるような、面的な地域連携体制ができつつある（図表8）。各事業の運営は学生や卒業生，社会人の責任者に任せ，筆者は全体を統括しつつ，ゼミの構造を実

20 福岡市の早良区と西区の境界を流れる二級河川。博多湾の潮の満ち引きが大きいため、時間帯によっては川の中に入ってごみ拾いや潮干狩りができる。



図表8 2017年度の活動マップ (筆者作成)

験的に変えることにした。その詳細については、次稿に譲る。

最後に、2016年度における新聞等の紙面掲載実績を示す。

【2016年度の新聞記事】

- ① 「〔西南学院大学広告ページ〕 教育インキュベート 地域との連携が社会経験の場に」, 『読売新聞』2016年7月1日朝刊, 18面。
- ② 「学生が企画営業 体験中 ミラクル花束 売り込み挑戦 西南学院大の実践講座 実社会学ぶ好機」, 『西日本新聞』2016年12月2日朝刊, 26面。
- ③ 「〔ここで生きるネット〕始動 現場の知恵結集 (筆者プロフィール・アンケート抜粋)」, 『西日本新聞』2017年1月3日朝刊, 6・7面。
- ④ 「模擬営業提案 学生が手応え シーホークへ西南大生ら 「社会人に向けて勉強」」, 『西日本新聞』2017年1月17日朝刊, 22面。

【2016年度のその他紙面】

- ⑤ 「まちかどSNAP 姫浜商店会連合会 M's コミュニティ編」, 『マイタウン 姫浜』 7月号, 21頁, 2016年6月24日。
- ⑥ 「街ネタクチコミ M's コミュニティ」, 『ぼど 西区・早良区版』 7月号, 25頁, 2016年6月。
- ⑦ 「西南学院大学 教育インキュベートプログラム 姫浜西南大学まち (写真のみ)」, 『大学の約束 2016-2017』 リクルートホールディングス, 66-67頁, 2016年9月20日。
- ⑧ 「『共創』によるまちづくり 商店街の活性化への第一歩として 姫浜西南大学まち」, 『福岡市政だより』 No.1582, 3面, 2016年11月15日。
- ⑨ 「Talk About 社会と「つ・な・が・る」(筆者と学生2名の鼎談記事)」, 『SEINAN Spirit』 No.199, 14-15頁, 2016年11月24日。
- ⑩ 「姫浜西南大学まちプロジェクト」, 環境省国立水俣病総合研究センター 『みなまた地域における地域創生のビジョンを求めて— 3世代育み健やかタウン—』 48-50頁, 2017年3月。

《つづく》